

エッセンシャルワーカーを支援しよう 積極財政で人員増と待遇改善を

『エッセンシャルワーカー』という言葉を知っていますか？

医療や介護の他に水道・電力・ごみ処理・食品販売や流通、公共交通など日常生活を維持するための職業に就いている人たちのことです。

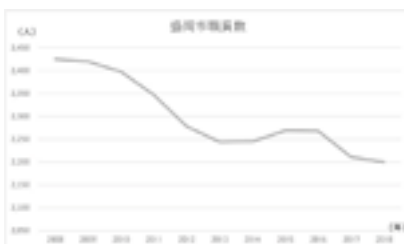
この方々の働きがあったからこそ、私たちは不要不急の外出自粛が可能でした。しかし、エッセンシャルワーカーの一部は不足しており、その待遇も充分なものではありません。

危険手当が月額3100円!?

6月定例会での答弁を聞いて、とても驚きました。市立病院の規定では感染症病床に勤務した看護師が新型コロナウイルス感染症病床で働いた場合の特殊勤務手当が月額3100円とのこと。少なすぎるといませんか？

緊縮財政で人が足りない

人工心肺装置（ECMO）の名前は、いぶん知られるようになり、ました。ですが稼働させるために、熟練した医師・技師・看護師が一日7〜8人必要なことはあまり知ら



ら「もっと増員を」と言われていました。同じ様に介護士や保育士の人手不足も深刻です。この原因は2000年頃から続いている緊

縮財政にあります。グラフが示す様に市職員は減り続けています。エッセンシャルワーカーの人員増と待遇改善を02年からの18年間でコロナウイルス感染症の流行は三度。今後もあり得ます。市民の生命に関わる仕事にはもっと人数のゆとりが必要で、緊縮財政による人減らしや労働条件の悪化をやめさせたいと思います。同じ会派の議員と一緒に『保健所や民間事業所も含めた保健・福祉・医療に関わる職場の人的体制を確保し、防疫等作業手当を引き上げること』を市長に要望し、介護の現場の状況を知るために介護事業者へのアンケートを実施しました。今後も、保険・福祉・医療職以外のエッセンシャルワーカーも含めて、働きやすくなるように頑張ります。

盛岡市議会議員

いせ 志穂

事務所 〒020-0133 岩手県盛岡市青山3丁目29-4

電話・FAX 019-645-8510

<http://ise.nahan.jp/> E-mail: ise@nahan.jp

発行 2020年8月



感染症流行以降の経済・雇用について考える 働きたい人すべてが働ける盛岡に

充分な生活、経済・雇用支援を

コロナ禍で解った過密の問題

新型コロナウイルス感染症に係る国費による経済対策の支出分は60兆円を上回り過去最大となりました。この対応を「過剰だったのでは？」といぶかしむ声がありますが私はそう思いません。

コロナ禍は一過性のものである可能性が高いと思います。現時点で倒産や失業を増やしてしまえばコロナ過が終わった後も需要の落ち込みが続き、さらなる景気後退に拍車をかけてしまいます。

現在、大規模な財政出動を実施したこともあって、日本の失業率は先進国の中でも最も低い部類に入っています。ゼロ金利であることから考えても、国は歳出を増やすことを恐れずに必要な支援を更に続けるべきだと思います。私は今後も国に対して助成や地方に対する交付金の増額を要望し続けていきます。

都市名	感染者数 (人)	人口密度 (人/k㎡)
感染症確認者の多い都道府県		
東京都	17,875	6,380.0
大阪府	6,916	4,631.9
神奈川県	3,905	3,816.9
愛知県	3,782	1,459.7
福岡県	3,683	1,024.7
感染症確認者が50人未満の県		
岩手県	9	79.5
鳥取県	21	157.5
青森県	33	127.9
秋田県	43	82.1

右は8月17日の深夜に更新されたヤフーの『新型コロナウイルス最新情報』のページから作成した表です。今までは人口密度の高さが都市の効率の良さを示していましたが、今後は過密状態のリスクを考慮して地方に基盤を置く企業が増える可能性が大きくなっています。

盛岡に働く場を増やそう

2017年度の県内就職率は岩手大学が32.3%、岩手県立大学が46.4%と、半数以上が県外へ就職しています。岩手県で学んで

も大都市へ就職していく理由のひとつは、働き口が多く職種もバラエティに富んでいることや、地方都市に比べて賃金が高いことなどがあげられます。

2019年地域別平均所得	
港区	12,170,218 円
目黒区	6,370,348 円
福井市	4,457,900 円
府中市	3,919,128 円
仙台市	3,450,399 円
高松市	3,257,482 円
盛岡市	3,167,016 円
宮崎市	2,933,228 円
青森市	2,785,269 円

岡市の平均所得は高い方ですが、人口に近い目黒区や府中市（いずれも東京都）、盛岡市と同じ中核市である福井市や高松市よりは低い水準です。

ここ数年間、盛岡市では実際の人口を増やすよりもイベントや観光による交流人口を増やすことに力を入れてきました。しかし、出社せりモートで仕事をしていくやり方が今後も続くことが予想で

失業や休業したとしても

このコロナ禍をきっかけとして急速にニーズが縮小してしまい、残念ながら失業したり廃業したりする方もいると思います。しかし、新しい生活様式の中で伸びる仕事もあるのも事実です。

北海道や鳥取県、弘前市や雲市などでは農業や医療福祉関係、建設業などに対して雇用マッチングを行っています。私は盛岡市でもこの仕組みを行うべきだと考えています。特に再就職へ向けた学び直しや訓練も含めて『働きたいと思う人であれば誰でも働ける』ことを目指す施策を盛岡市が実施するように頑張ります。

盛岡市の新型コロナウイルス感染対策

様々な感染症対策が実施されている中から『生活支援、経済・雇用対策』を中心に紹介します。
くわしく知りたい方はお気軽に私か、あるいは下記の市役所担当課までご連絡ください。

市民全員	すべての使用者に対して水道料金の基本料金を2か月減免
	水道料金、下水道料金、農業集落排水施設利用料、公設浄化槽使用料の支払期限延長
市民全員	市税の納税猶予
	国の指針を踏まえた固定資産税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免
市民全員	国の指針を踏まえて市民税、軽自動車税の分割納付・納付期限の延長
	3か月間の売上が30%以上減少した者に家賃を補助（経費1/2、上限30万円）
事業者など	売上高が減少した中小・小規模事業者のうち9月30日までに融資を受けた事業者にもりおか事業継続支援金を給付
	雇用継続支援金の支給（上限30万円）
	国の雇用調整助成金を受給し雇用の継続を行った中小事業者へ雇用継続支援金（受給した雇用調整助成金の1割で上限30万円）また、雇用調整助成金の申請の際に社会保険労務士に書類作成などを依頼した場合、支払報酬の一部を助成（上限10万円）
	大手就職ナビサイトに掲載を行った中小企業に助成（上限100万円）
	生活困窮の大学生などにインターンシップを実施した場合、賃金等を助成（上限1000円/時）
	相当程度の減収がある障害福祉サービスの就労支援事業所に継続のための支援（上限50万円）
	セーフティネット保証及び機器関連保証の認定を受けて利用する県制度融資の国や県の支援対象外の保証料と利子3年間の補給
	地場産業などを活かした新しい事業を行うグループに補助（補助率9/10、上限100万円）
	セーフティネット保証などを受けた事業者に事業継続応援資金を支給（法人20万円、個人10万円）
	介護事業所などでオンラインでの面会が出来るように機器の導入の一部を補助
	子ども食堂の運営に助成（1実施団体あたり月額5万円を上限）
	市内在住か直近1年間おおむね市内で活動して来た実績のある個人や団体が芸術活動を行う場合、芸術文化創造事業助成金（上限30万円）を助成
勤労者	勤労者向け生活援助資金の実質無利子での融資制度（上限50万円）創設
	生活困窮の学生（留学生を含む）を市のパートタイム会計年度任用職員へ任用
子育て	児童手当（本則給付）を受給する世帯に児童1人当たり1万円の臨時特別給付金を支給
	児童扶養手当受給世帯に対するひとり親世帯等特別給付金（3万円）の支給
	4月28日～3月31日に子どもが生まれた世帯に赤ちゃん応援特別給付金（1人あたり10万円）を支給
	ひとり親世帯にひとり親世帯臨時特別給付金（1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円）
子育て	感染した妊産婦への退院後ケアの支援費用と分娩前の妊婦への新型コロナウイルス検査費用を助成

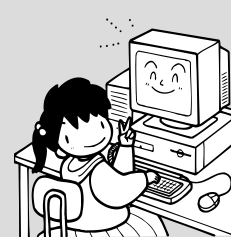
※その他景気振興のために『盛岡の宿応援割事業』『プレミアム付商品券発行事業』などがあります。

盛岡市役所相談窓口電話番号

	内容	電話番号
生活相談	税金、保険、年金、生活費、福祉、介護、子育て、DVなど	613-8145
事業者相談	経営相談、金融相談	626-7538
勤労者相談	労働相談、雇用・就業相談	613-8298

<http://ise.nahan.jp/>

いせ志穂の
ホームページでは
情報を随時公開し
ています。どうぞ
ご利用ください。



◆返信用封筒と便箋を同封しました。ぜひ教えてください!!



困っています

昨年の市議選の時には、思いもよらなかった感染症の流行。

『人との接触を減らす』というのは、社会的孤立防止の活動を増やそうとしていた私たちにとって

大きな打撃です。今は、新しい生活様式にあわせた『孤立をふせぐ』何度でもチャレンジできる『盛岡をつくるための方法』をもう一度考えようとしているところです。

新しい時代の新しいやり方

先日、何気なく聞いていたラジオで経済学者の森永卓郎さんが「今の日本は、厳しい不況や感染症の流行など百年前と似ている」という話の中で大正9年の特徴をふたつほど話していました。

①財閥系などの大企業が中小企業を飲み込んで巨大化した。

②西洋文化の定着というライフスタイルの変化に対応した新しい企業が次々誕生した。

この頃に誕生し現在も続く企業は、クリーニングの白洋舎、パイロット万年筆やトンボ鉛筆など。西洋化という生活様式が新しい事業を生み出しました。今、私たちに強いられている感染防止の生活様式も新しいものを生み出す可能性があります。

ご意見をお聞かせください

3月に市議会の会派の仲間と一緒にに内閣や各政党に感染症対策の要望を行いました。無理だろうと思いつつ『ベシックスインカム(無

条件で国民に一定の金額を給付すること)の実施』を入れたのが『ひとり10万円の特別定額給付金』として実施されました。

時代の節目が来ています。

労働・雇用創出特別委員会の委員長を務める私としては仕事を増やす方法を必死で考えています。また、生活福祉の新しい仕組みも作れるかもしれません。

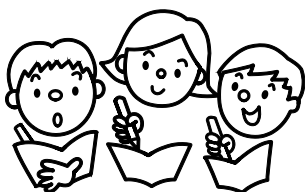
ぜひ力をお貸しください。考えていること、改善するべきだと感じたこと、困ったことなどを教えていただきたいのです。一緒にピッチをチャンスに変えましょう。

◆ご希望の方に催し物情報をお送りします

今年度はコロナ禍でイベントが中止や延期になっています。

感染症流行による子ども達の暮らしへの影響や感染者への差別の問題など、これから皆さんにもお知らせしたい催しがあるのですが残念なことに現時点では日程などが流動的で掲載できません。

ご希望の方はメールをいただければ、催し物情報をお送りします。またホームページでは随時お知らせしておりますので、そちらもご覧ください。



ご相談・情報提供のお願い



【お手伝いください】

このニュースを知人に見せてください。ポスティングなどお手伝いいただける方はご連絡ください。

【ご相談・情報提供】

困りごとなどがありましたらお気軽に電話やメールでご連絡ください。また、ご意見・ご提言も大歓迎です。匿名でもかまいませんが結果を知りたい方はお名前とご連絡先をお知らせください。

【盛岡市議会での情報を中心にホームページで公開しています】

<http://ise.nahan.jp/> E-mail: ise@nahan.jp TEL&FAX: 019 - 645 - 8510